

IV 研究開発

1. はじめに

当研究センターの2019年度の研究開発について、報告する。研究開発は、光源加速器及びビームライン等の高度化並びに新規実験技術開発等を目的とし、当研究センターの試験研究費及び国の科学研究費等に基づいて実施した。以下に、その概略を述べる。

2. 研究開発の概略

2-1 試験研究費による研究

2019年度実施された研究は、表1のとおりである。

表1 2019年度に実施された研究

| 課題名 | 代表者(分担者) |
|--------------------------------|----------|
| BL10 光電子分光装置の測定位置確認用試料ホルダーの作製 | 吉村大介 |
| 放射光施設 SAGA-LS における放射化の空間分布調査 | 瀬戸山寛之 |
| 次世代半導体材料の結晶歪み・欠陥構造の研究V | 石地耕太郎 |
| 高エネルギー放射光を利用した回折実験システムの高度化 | 馬込栄輔 |
| 蓄積リングビームプロファイルの高速モニタリングシステムの開発 | 岩崎能尊 |
| 低温イメージング系の高機能化 | 米山明男 |
| 新型試料搬送導入装置の開発と性能評価 | 小林英一 |

2-2 科学研究費助成事業による研究

当研究センターは、2006年度から科学研究費補助金取扱規程による学術研究機関の指定を受けており、研究員は科学研究費の応募が可能である。

2019年度に交付決定を受けた研究はなかった。また2019年度より前に交付決定を受けた研究は、表2のとおりである。

表2 2019年度より前に交付決定を受けた研究

| 期間 | 種目 | 課題名 | 代表者 |
|-------------|---------|---------------------------|------|
| 2017～2019年度 | 基盤研究(C) | 湾曲結晶チャネリングを利用したビーム操作技術の開発 | 高林雄一 |
| 2018～2020年度 | 基盤研究(C) | 多重エッジ放射干渉効果の研究 | 江田茂 |
| 2018～2020年度 | 基盤研究(C) | レーザー誘起蛍光法で探る希ガス原子のVUV 渦励起 | 金安達夫 |